平成30年度事業計画

自:平成30年4月1日

至:平成 31 年3月 31 日

一般財団法人つくば市国際交流協会

平成30年度事業計画

つくば市国際交流協会は、平成 25 年(2013 年)2月に一般財団法人として設立され、同年4月から業務を開始し5年が経過しようとしています。

平成 30 年(2018 年)2月1日現在, つくば市には 138 か国 9,286 名の外国人が居住しており, 近年はベトナム, フィリピン, インドネシア国籍者数が増加しております。

平成 29 年度,つくば市国際交流協会(協会)では,協会活動をより広範囲へ周知するため,機関誌 Link 第6号及び第7号(3月発行予定)の発行を行ったほか,ホームページや facebook にて,事業紹介を積極的に行いました。また,ホームページのリニューアルに着手しております。

協会の中長期目標について検討を行うために、日本人、外国人を問わず、市民の様々な意見を聴くことが重要と考え、アンケート調査を行いました。その結果、協会事業に参加した方の多くは、楽しさを感じ、他事業への興味を示したり、継続して参加したりすることに繋がる一方、協会の周知に課題があることなどがわかりました。また、外国人回答者からは、日本に定住しているまたは定住を考えている方が多く、大人や子どもに対する日本語支援、同国または異なる外国との交流の場の創出などを希望する意見がありました。今後、更なる意見の収集、分析を行い、事業計画の策定に反映させていく必要があります。

外国に繋がる小中学校の児童生徒及び保護者に対して高校進学相談会を開催したところ,将来に向けて日本語指導が必要だという意見があり,関係部署と連携しながら小中学校の長期休みに合わせて「こども日本語勉強会」を開催しました。更に,関東各地で外国人児童生徒の支援を行っている団体との交流の中で,つくばにも共通する様々な類似の事例や課題が多いこともわかりました。これらの結果からも,外国人への支援の方法を様々な視点から考え,連携,実施していく必要があります。

平成30年度は、「つくば市グローバル化基本指針」及び5年間の活動を踏まえ一部事業 見直し、下記4点を重点目標として取り組みます。

1 外国人への生活支援の充実に取り組みます

病院やクリニックなど医療機関において、外国人患者が安心して母語で受診できるようにすることは、日常生活において欠かすことのできないものです。中核病院だけでなく医師会などを通じて、地域の医院・クリニックなどに対して医療通訳ボランティア派遣制度を引き続き周知するとともに、ボランティアの通訳レベルの向上、対応言語の充実についても検討して参ります。

医療通訳ボランティア派遣に関する協定について, 市内の病院と協議を重ねており,

その締結を目指すとともに、新たな病院との話し合いを開始できるよう取り組みます。

また,患者は周辺市町村から市内病院で受診するなど市町村を越えて移動するため,つくば市役所及び近隣市町村国際担当部局並びに同国際交流協会と連携できるよう検討して参ります。

2 日本語指学習機会の充実に取り組みます。

外国につながる方々が日本で支障なく生活できるように日本語を習得することは重要です。その中でも小中学生に対する日本語教育は、生活のためだけでなく学習面における日本語も学ぶ必要がありますが、指導者が不足しているため、筑波学院大学と共催し、指導者の育成・研修事業を行います。更に、つくば市教育局との連携のもと、市内数か所において「こども日本語勉強会」を新規に開催し、児童生徒の日本語学習機会を拡充します。

日本の学校制度,特に高校進学は外国人家庭にとってわかりにくいことも多く,早くから制度や費用,学校生活などについて知り,準備する必要があるため,高校進学ガイダンスを昨年に引き続き取り組みます。

3 市民における国際間感覚の涵養に取り組みます。

国籍を問わず参加できるイベントの開催は、外国人の社会参加に繋げるための重要な取り組みと考えます。また、市民がグローバルな感覚を養い、国際社会への一員として異文化を理解し受け入れられるよう、Bivi つくば交流サロンにて開催している「世界お茶のみ話」を継続して行い、外国人研究者や留学生が母国を紹介する国際理解講座を開催し、文化や習慣、課題などについて聴講者との活発な意見交換を促すことで、国際感覚やコミュニケーション力の向上が図れるよう努めます。

つくば市を拠点に国際交流活動を展開している団体・個人などと連携し、事業の共催または後援などにより、お互いの活動が活発になるよう取り組みます。

国と国との習慣や文化の相互理解を深めるためには、青少年期から外国との交流を体験することが有益だと考えます。韓国大田広域市との青少年交流事業は、韓国に訪問します。

4 協会の中長期目標の策定に取り組みます。

中長期目標の策定を検討するため関係する団体を対象にアンケート調査を行いました。今後、その結果を詳細に分析するとともに、つくば市グローバル化基本指針を基本とし、協会として将来を見据えた活動を行うために、中長期に渡る具体的な施策の策定に向けて引き続き取り組んで参ります。

国際交流事業

- A 外国人生活支援事業(対象:外国人)
 - 1 日本語
 - ①日本語講座
 - ②日本語ボランティア講師入門講座
 - ③こども日本語指導者研修会
 - ④こども日本語勉強会(新規)
 - 2 医療通訳ボランティア育成・派遣
 - 3 外国人のための相談室(見直し)
 - 4 外国人高校進学相談会
 - 5 メディカル英会話講座
- B 文化交流事業(対象:日本人·外国人)
 - 1 つくばフェスティバル(国際交流フェア)
 - 2 文化交流
 - ①世界お茶のみ話
 - ②日本:外国文化体験
 - 3 姉妹友好都市交流(拡充)
 - 4 英語スピーチ・プレゼンテーション大会
 - 5 英語観光ガイドボランティア募集・研修
 - 6 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣
 - 7 シティーチャットカフェ
- C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)
 - 1 ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査(座談会)
 - 2 替助会員募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

国際交流事業

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)

1 日本語

①日本語講座

市内在住外国人を対象に、日常生活に必要な日本語(入門から初級)の修得を目的とする。講師は日本語ボランティア講師(TIVONAの会)が担当する。

クラス: 昼3クラス, 夜6クラス

期 間:4月~9月,10月~3月

場 所:つくばイノベーションプラザ

授業数: 昼クラス 各期 16 回 (1回2時間, 合計 32 時間)

夜クラス 各期 20 回 (1回 1.5 時間, 合計 30 時間)

定 員:各クラス 15 名

②日本語ボランティア講師入門講座

日本語講座で講師をするボランティアを養成する。

回 数:年1回(5日間程度)

③こども日本語指導者研修会

外国につながる児童生徒に対する日本語教育の重要性が増している。 筑波学院大学や教育委員会と連携して、こどもに対する日本語の指導方 法を検討実践する。

- ・体制構築:こども日本語支援協議会設置の検討(教育委員会,大学,つくば市,協会など)
- ・人材育成:こども日本語指導者研修会(筑波学院大学共催)

回 数:年1回(6日間程度:座学及び実習)

※研修会修了者は、ボランティア登録を行うとともに、下記④の講師として活動するほか、教育委員会の求めに応じて市内小中学校において日本語指導に協力する。

④こども日本語勉強会(新規)

小中学校の長期休み(夏休み・冬休み・春休み)期間中に,日本語指導が必要な児童生徒を対象として,日本語学習を行う。

・期 間:夏休み5日間、冬休み4日間、春休み2日間

・場 所:市内3か所程度

2 医療通訳ボランティア派遣・研修

市内在住外国人が病院で安心して受診できるように,患者の母語で通訳を行うことを目的とする。また,患者は周辺市町村から市内病院で受診するなど市町村を越えて移動するため,つくば市役所及び近隣市町村国際担当部局並びに同国際交流協会と連携できるよう検討する。また,派遣先病院と医療通訳ボランティア派遣に関する協定の締結を進める。

派 遣:随時(病院からの申請による)

派遣先:市内,周辺市町村の病院,クリニック等対応言語:英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語

3 外国人のための相談室

在住外国人の様々な相談を受け、その解決又は、より相応しい相談機関を 案内することを目的とする。相談員は、研修会などにも参加し対応力の向上を 図る。

実施日:毎週水曜日(祝日休)

時 間:10 時~13 時

言語:英語,中国語,日本語

場 所:協会事務所内

4 外国人高校進学相談会

外国につながる人児童生徒及び保護者にとって、学校に関わる様々なトピック(日本語、進学など)は悩みの種となりやすい。とりわけ進学においてトラブルを抱える外国人世帯は数多い。「高校とはなにか?」「試験はどのようなシステムか?」などに関するガイダンスをおこなうことで、外国人親子のサポートを行う。情報提供等を通して外国人児童生徒のキャリア形成に関するフォローを行う。

また, 県内外支援団体との情報共有を行い知識の蓄積を図るため, 研修会等へも積極的に参加する。

回数:1回7月頃場 所:つくば市内

対 象:市内在学外国人児童生徒及び保護者ほか

5 メディカル英会話講座

外国人患者が病院に受診する際に、受付から診療まで英語でスムーズな対応ができるように、基本的な話し方、用語などを習得すること、医療通訳ボランティアの派遣制度を周知することを目的とする。

回 数:年1回10月場 所:つくば市内

対 象:病院・クリニックの受付事務担当者,看護師,医師など医療従事者

B 文化交流事業(対象:日本人·外国人)

1 フェスティバル

世界の舞踊や歌の披露,料理実演販売,国際理解プログラム 協会事業に協力いただく団体または市内活動団体を優先的に募 集し,協会見本市の原型を演出し,市民に対して協会事業の周知を図る ことを目的とする。

実 施 日:5月12日,13日(予定)

募集団体:飲食・物販・団体紹介など25団体,ステージ10団体程度

2 文化交流(世界お茶のみ話,日本・外国文化体験など)

つくばを中心に居住する外国人が、母国やその周辺で起こっていることを つくばに伝え、または課題を共有し、日本またはつくばから何ができるのかな ど、講演者と聴講者との間で議論し、お互いを知り、理解し、交流する場とす ることを目的に行う。その他、協会以外の国際交流グループと連携して、日 本・外国文化体験講座なども行う。

①世界お茶のみ話(講演会)

実施日:毎月第3土曜日 15:45~17:15(予定)

回数:年12回

場 所:Bivi つくば 交流サロン

②日本·外国文化体験

回 数:年6回程度

場 所:市内交流センター,イノベーションプラザなど 内 容:日本・外国料理,各国踊り体験,ハイキングなど

3 姉妹友好都市交流

つくばから青少年(中学生)が韓国大田市に訪問する。韓国家庭にホームステイするほか,韓国文化の体験を通して,日韓の相互理解を図る。

タイトル:2018 日韓青少年交流事業

期日:平成30年7月26日(木)~29日(日)(訪問)

平成30年8月下旬(受入れ)

場所:韓国大田市

4 英語スピーチ・プレゼンテーション大会

英語学習初心者が、留学生と交流しながら原稿を作成し、発表する事でより語学に関心を持ったり、外国の文化に興味を持ったりすることを目的として開催する。(筑波大学共催事業)

回 数:年1回(11月~12月頃)

対 象:市内中高生

5 英語観光ガイド

海外や他地域からつくばを訪問する外国人に対して, 市内の観光スポットの紹介ができるボランティアの育成を目的とする。

回 数:年1回7月(2日間連続講座)

6 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介

市民・留学生・JICA 研修員などの依頼者に対して、通訳やホームステイ等の支援を行う。また、市内小学校・幼稚園・保育所、特別支援学校などで開催される国際交流イベントなどに外国人を派遣する。

時期:随時

7 シティーチャットカフェ

英語で在住外国人との交流を目的として開催する。筑波大学と共催

回 数:12回(毎月1回開催。うち協会は4回担当) 場 所:ララガーデンつくば・グローバルビレッジ

- C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)
 - 1 ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査(座談会)

外国人・または日本人が、国際交流協会に何を求めているのか、協会の進むべき方向を検討する指針とするために座談会形式で継続して行う。また、協会事業などの情報をホームページや facebook, Link! (機関誌) などを通じて周知する。

2 替助会員募集

協会を資金面から支援いただくために募集を行う。

個人会員 一口 2,000円/年度

団体会員 一口10,000円/年度

法人会員 一口20,000円/年度

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

つくば市パスポートセンター支援のため、写真撮影、印紙・証紙、葉書、切手等の販売を行う。

営業日:月曜~金曜日(土日祝,12月29日~1月3日休み)

時間:午前8時30分~午後5時